



東北新幹線 白石蔵王駅
東北本線 白石駅
東海林 正年 駅長
Masatoshi Tokairin

仙台・宮城DCは白石の魅力を磨くきっかけづくり。 「地域とともに生きる」という思いで一緒に白石の未来を考えたい

今回のDCのテーマは「花・食・鎮魂・復興」。これまでのDCよりも大きな意義があると思っています。また、DCといえば「観光」という意義が強かったのですが、「DCをきっかけにまちおこし」と考える自治体が増えています。DCは第一次産業から第三次産業まで広がることができ、その効果も大きいものがあります。今回のDCはいいきっかけづくりになると思います。ただ、そのチャンスを逃してはなりません。全国が競争相手です。青森まで3時間、北陸や北海道へも新幹線で行けるようになれば、どんどん首都圏からの距離が近くなり、努力しない地域はおいでいられるでしょう。

私は山形県出身でさまざまな地域を見て

きましたが、白石には歴史や文化といった素晴らしい素材がたくさんあります。地元では気付かないことがあるかもしれませんが、白石の文化を発信しない手はありません。それらの素材はまだ磨くことができる「原石」。DCはその原石を磨くチャンスであり、きっかけです。

駅や行政だけではできないことも、地域に住む皆さんで協力すれば、小さくても、「光り輝くまち」になります。DCはまさに地域の総力戦です。私たちも、「地域とともに生きる」という思いで、皆さんと一緒に白石の未来を考えていきたい。10年後、観光客であふれる白石の姿を、白石の未来を信じています。DC成功のために、地域一体となって頑張りましょう。



株式会社ファッションスタジオ
吉澤 和子 さん
Kazuko Yoshizawa

「笑顔」は何ものにも勝るおもてなし

「おもてなしの心」に言葉を添えて」と題した講演では、(株)ファッションスタジオの吉澤和子さんが接客の時に大切なことなどを参加者に問い掛けました。吉澤さんは、「東北の人たちは、おもてなしの心はあるが言葉や表情、気持ちを出せない人が多いです。時間をかければその良さが分かるかもしれませんが、それでは遅いことも。初対

面への第一印象は3〜15秒で決まり、第一印象の70%は服装などの見た目で決まると言われています。例えば、毎日洗濯しているエプロンでも汚れが付いているればお客さまから汚いと見られます。身だしなみは自分ではなく相手が判断することで、清潔に見えることが大事」と、身だしなみの重要性を話しました。また、「仕事の第一歩はあいさつ。目上・目下にかかわらず、先手必勝があいさつの基本で、言葉に出して発信しましょう。明るくはつきりと、にこやかな表情で相手に届けましょう」と話し、最後に、「今までより、ちょっとだけ姿勢を良くして、言葉を相手に向けて出してください。一番大事なことは『笑顔』。笑顔は何ものにも勝るおもてなし。笑顔が良いかです。その店が分かると言っているほどで

おもてなし力アップのためにできること

「おもてなしの心」に言葉を添えて」と題した講演では、(株)ファッションスタジオの吉澤和子さんが接客の時に大切なことなどを参加者に問い掛けました。吉澤さんは、「東北の人たちは、おもてなしの心はあるが言葉や表情、気持ちを出せない人が多いです。時間をかければその良さが分かるかもしれませんが、それでは遅いことも。初対

面への第一印象は3〜15秒で決まり、第一印象の70%は服装などの見た目で決まると言われています。例えば、毎日洗濯しているエプロンでも汚れが付いているればお客さまから汚いと見られます。身だしなみは自分ではなく相手が判断することで、清潔に見えることが大事」と、身だしなみの重要性を話しました。また、「仕事の第一歩はあいさつ。目上・目下にかかわらず、先手必勝があいさつの基本で、言葉に出して発信しましょう。明るくはつきりと、にこやかな表情で相手に届けましょう」と話し、最後に、「今までより、ちょっとだけ姿勢を良くして、言葉を相手に向けて出してください。一番大事なことは『笑顔』。笑顔は何ものにも勝るおもてなし。笑顔が良いかです。その店が分かると言っているほどで

仙台・宮城DCの先にあるもの

4月からのDC期間中は、県内外からJRやバス、自家用車などを利用して多くの方々が白石を訪れます。白石を訪れた一人でも多くの方に白石の良さを知っていただいて、「いい所に来たなあ」「もう一度来てみたいなあ」と実感していただくために、観光業に携わる方はもとより、多くの市民の皆さんが、ささやかな「おもてなしの心」でサポートしましょう。

「おもてなしの心」で接するといっても、特別な技術は必要ありません。「笑顔で迎える」「道を尋ねられた時は案内する」「何か困っている時は相談のつてあげる」「観光バスが通った手を振る」「イベントに参加する」など、身近なことから始めてみませんか。DCは白石の魅力を磨く絶好のチャンス。このチャンスを活かすことができれば、白石はもつと光り輝くまちになります。市民の皆さんの心を一つにいざDC開幕！



仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会
志子田 伸一 さん
Shinichi Shikoda

DC成功のためには地域の盛り上がりが必要

2月26日、DCを前に、県南エリアの観光関係者を対象とした「おもてなし研修会」がいきいきプラザで開催され、観光客を温かく迎える体制づくりの一助とするため、あらためてDCの取り組みやおもてなしの心について学びました。

研修会では、まず、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会事務局の志子田伸一さんがDC開催の意義や効果などを説明。観光に力を入れる理由として、「宮城県全体で定住人口の減少が始まっており、定住人口が1人減少すると年間消費額が124万円も減少すると言われています。この影響を小さくするた

めには交流人口の増加が必要で、DCは、魅力的な観光エリア確立へのきっかけ作りとなります」と話しました。続けて、「平成20年のDCは、岩手宮城内陸地震やリーマンショックの影響があったにもかかわらず成功することができました。これは皆さんの頑張りがあったから。DC成功のためには、地元の盛り上がりや事業者の熱意、地域・産業界の連携が不可欠です。前回のDCから5年がたち、地域の企画力は上がっています。皆さん自信を持ちましょう」と、事業者間の連携の重要性などを話しました。最後に、「観光客にとって第一印象は非常に大切。そのためにも相手の心を思いやる気持ちが必要で、それがおもてなし。理由は分からなくても『心地良い』と思ってもらうことがリビ

「白石ならではの」おもてなし作戦

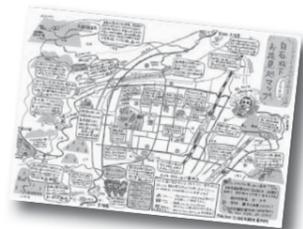
白石市観光協会では、平成20年のDCを契機として始めた「おもてなしの心」を意識した事業を継続実施しています。「レンタサイクル」「レンタル傘」「手づくりマップ」など、まちを歩いている観光客の方にぜひ教えてあげてください。

「城下町散策～レンタサイクル」

市内散策に便利と好評な黄色い自転車無料で貸し出します(貸出時に保証料として500円が必要ですが返却時に返金)。貸出場所は白石駅観光案内所、白石城、白石蔵王駅観光案内所の3カ所です(返却は各場所自由)。

「白石城下 手づくりマップ」

白石を楽しく観光して記念として残してもらおうと、出版社などのプロとは違う視点で作ったのが「手づくりマップ」。甘味処、史跡処、うーめん処、お花見処など10シリーズを用意し、白石駅観光案内所で差し上げています。



「レンタル傘」

急な雨でも安心！傘を貸し出します。貸出場所は白石駅観光案内所、壽丸屋敷、白石城、武家屋敷の4カ所(返却は各場所自由)です。

仙台・宮城DCの成功を一過性で終わらせない おもてなし力アップのために 私たち市民一人一人にも できることがある

なぜDCに力を入れる？

研修会では、まず、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会事務局の志子田伸一さんがDC開催の意義や効果などを説明。観光に力を入れる理由として、「宮城県全体で定住人口の減少が始まっており、定住人口が1人減少すると年間消費額が124万円も減少すると言われている。この影響を小さくするた

「みやぎ蔵王弁当」第3弾

6月末まで期間限定発売
PR動画でおもてなし

県南の食材を使った駅弁「みやぎ蔵王弁当」第3弾が、6月末まで期間限定で発売中です。今回は、女将や奥州片倉組、県南のご当地キャラクターが出演したPR動画を白石蔵王駅で撮影。このPR動画は、YouTubeで配信予定です。弁当の予約は、NRE仙台調理センター(☎022-257-2981)にお問い合わせください。

